財政再建への取り組みと課題は

鷲野聰明 議員

質問

市の借金残高は、毎年約10億円から15億円増大し、平成23年度には304億8千万円となった。隣の津島市の財政再建への取り組みが新聞に大きく取り上げられている。莫大な維持費がかかる箱物縮小に踏み切るべきだ。

市の財政再建への取り組みも、市民には見えにくいが、具体的な取り組みは。

企画部長

現在の財政状況と課題は当然厳しい財政状況に変わりはない。福祉施策の扶助費が右肩上がりに上がっていく。その中で、事業評価で効果が見られないものを削減提案をしている。経常収支の削減に努めていきたい。

市長

議員の方々も、改革案をどしどし出してほしい。持続可能な財政のため一層の厳しい目線で見てほしい。市民の声も届けてほしい。

質問

市有施設の延床面積と戸数、施設数は。

遊休資産の処分、有効活用について、昨年は5カ所の市営駐車場が整備され、今月12月号の広報には「市有財産を売り払います」との掲示がされ、やっと一歩踏み出したことは評価したい。

売り払い2物件の最低入札価格の積算方法は。また、売却可能資産は何物件を考えているのか。

総務部長

市有施設の延床面積はトータルで23万3千68㎡で棟数は563棟、施設数は165施設。

遊休資産の処分で最低入札価格の積算は不動産鑑定士の鑑定評価を参考にし、価格を決定した。

売却可能資産は19筆で、今年度2筆を処分。25年度は5筆ぐらいを予定。

質問

インターネットオークションの導入について。全国自治体の過半数がインターネット公売への参加契約をし、出品物件総数も過去最高になったと聞く。地方自治体の財源確保に役立てていこうという利便性の高いサービスが得られるため、利用自治体が増加していると言われている。我が市でも前向きに勉強、検討したらどうか。

早尾町松永邸については維持管理を続けているが、昨今、2連の蔵の壁板や屋根が崩れてきてブルーシートが張りつけてあり景観的にもよくない。

早急なる活用方法、処分方法について結論を出すべきと考えるが市の方針は。

総務部長

インターネットオークションは時期尚早ではないか。

松永邸は福祉教育、多方面で事業提案を民間の応募で進めたい。

寄付された旧松永邸